

2024 年 12 月 4 日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 胃癌における線維芽細胞増殖因子 FGF10-FGFR2 シグナルに関する研究 」 への協力をお願い

消化器外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2000 年 6 月 1 日～2008 年 12 月 31 日までに岐阜大学医学部附属病院で胃腺癌に対して胃切除術を受けられた方。

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

本邦における胃癌のがん罹患数ならびにがん死亡数において、常に上位で推移しており、胃癌の病態の解明の臨床的意義は非常に重要です。胃の発生と形態形成に関与する細胞増殖因子の一つに線維芽細胞増殖因子 10 (FGF10) があり、上皮の増殖を促進する役割があります。過去には FGF10 が胃癌の発癌機序や予後と関連している可能性が報告されていますが、現状では詳細な関連は十分に解明されていません。本研究では胃癌の切除標本における FGF10 とその受容体である線維芽細胞増殖因子受容体 2 (FGFR2) の発現頻度やその他の組織学的特徴との関連を明らかにし、胃癌における FGF10 の意義を明らかにすることを目的としています。

研究に用いる試料・情報の項目：

・外科的切除された胃癌組織のホルマリン固定標本を使用します。腫瘍組織や正常胃組織に関して、各種染色を行い、その発現頻度に応じてスコアリングを行います。

FGF10、FGFR2、HER2、EGFR、cMET、Mib-1、CD44 の発現情報。

・下記の情報を診療録から取得します。これは日常診療によって得られる情報です。

性別、年齢、入院日、手術日、原発巣 (pT grade、pN grade、臨床 Stage、最終 Stage)、原発巣位置、リンパ節切除個数、リンパ節転移個数、切除標本肉眼型、切除標本腫瘍径、遠隔転移状況、細胞診、組織型、術後化学療法の有無、抗がん剤レジメン、抗がん剤治療期間、術式、腫瘍マーカー、再発の有無、再発形式、再発時期、全生存期間、無再発生存期間、死因。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024 年 12 月 6 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学 准教授

氏名：富田弘之

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

電話番号：058-230-6235

058-230-6000（夜間・休日）

氏名：藤林 勢世

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp